

# いきいき茨城ゆめ国体

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



9月28日、令和となって初めての国民体育大会「茨城国体」が開幕し、笠松運動公園陸上競技場（ひたちなか市）で総合開会式が行われました。式典前のオープニングプログラムでは、日立市出身の体操選手が中心となり考案した「ラジオ体操」が実施され、県内44市町村から選ばれた小学生（七重小6年生10人参加）が登場し、フィールドとスタンドが一体となって会場全体を盛り上げました。



七重小の児童が参加した「ラジオ体操」

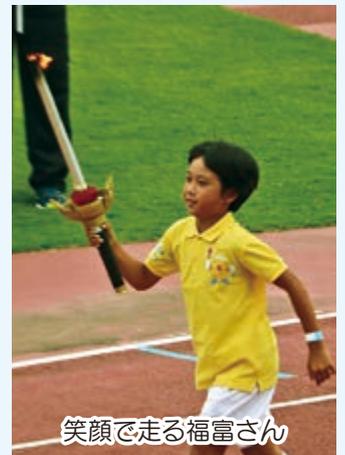
式典で行われた「炬火入場・点火」では、坂東市代表として福富陽向さん（岩井二小4年生）、県西地区代表として野口美千代さん（前回国体出場者）がそれぞれ炬火走者として出演され、走者の手から手へつながれた火が、炬火台に灯されました。



県内44市町村の炬火



県西地区の炬火を集火した野口さん



笑顔で走る福富さん

また、坂東市では、10月3日から7日までの5日間、総合体育館と岩井高等学校体育館を舞台にハンドボール競技が行われ、種目別で熱戦が繰り広げられました。

大会の結果などは「広報ばんどう11月号」でお知らせします。